

専門分野・基礎看護学 授業計画

|   |   |        |   |
|---|---|--------|---|
| 授業科目及び時間数   | 看護概論 1単位 30時間   |        |   |
| 開講時期  | 1年次 前期  |        |   |
| 担当教員  | 松永則子  | 実務経験   | 有 |
| <p>&lt;科目のねらい&gt;</p> <p>社会の変化に伴い医療現場も変わり、看護職に対する期待、働く場も多様化している。しかし、看護の場が多様化しても、看護師は「生」「死」「病」「生」に向き合う職業であり、その人の健康問題をその人と共に解決していこうとする職業に変わりはない。</p> <p>看護学概論は、各看護学の基盤となる科目である「人間」「環境」「健康」「看護」の概念をキーワードに、看護の対象である人間を理解し看護とは何か、看護師とは何をする人かを学ぶ。</p> <p>&lt;到達目標&gt;</p> <p>看護の概念を捉え、保健医療福祉の中での看護の役割と責務、専門性について学ぶ。</p> |   |        |   |
| 授業計画・内容・担当教員  |   |        |   |
| 1回目   | 1. 看護学を学ぶにあたり<br>2. 看護職の資格と規定   | 講義     |   |
| 2回目   | 1. 看護の変遷 2. 職業としての看護の確立   | 講義     |   |
| 3回目   | 1. 看護と何かを考える<br>1) 看護の専門性、独自性 2) 患者中心の看護<br>3) 実践の科学としての看護 4) 看護の定義、概念  | 講義 演習  |   |
| 4回目   | 1. フローレンス=ナイチンゲール看護論  | 講義 演習  |   |
| 5回目   | 1. フローレンス=ナイチンゲール看護論  | 演習     |   |
| 6回目   | 1. ヴァージニア=ヘンダーソン看護論   | 講義     |   |
| 7回目   | 1. ジョイス=トラベルビー 2. ドロセア=E=オレム<br>3. シスター=カリタス=ロイ 4. パトリシア=ベナー<br>5. アイモジン=M=キング 看護論  | 講義     |   |
| 8回目   | 1. 看護の対象である人間理解<br>1) ころとからだ 2) 成長・発達 3) 人の生活   | 講義     |   |
| 9回目   | 1. 生活者としての健康の捉え方  | 講義 演習  |   |
| 10回目  | 1. 生活者としての健康の捉え方  | 演習     |   |
| 11回目  | 1. 生活者としての健康の捉え方  | 講義 演習  |   |
| 12回目  | 1. 看護の機能と役割<br>2. 看護の活動領域 1) 国際化と看護 2) 災害における看護   | 講義     |   |
| 13回目  | 1. 看護における倫理   | 講義     |   |
| 14回目  | 1. 人が人として生きることを考える  | 講義 VTR |   |
| 15回目  | 終了試験  |        |   |
| 評価方法  | 授業・演習取り組み姿勢、レポート、筆記試験から総合的に評価する   |        |   |
| 受講生に対するメッセージ  | <p>看護学校に入学し初めて学ぶ専門分野の科目です。看護の本質や看護理論など、目に見えない抽象的な内容も多く、難しく感じるかもしれませんが。丸暗記だけでは、わかりづらい内容が多いため、好奇心を持ちながら講義・演習に参加してください。</p> <p>自己の看護観を築くための基礎科目になります。「私の考える看護は・・・」問い続けて下さい。授業期間中に課題レポートがあります。指示された期間内に計画的に取り組みして下さい。</p> |        |   |
| テキスト  | 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学① 看護学概論 医学書院  |        |   |
| 参考書   | ナイチンゲール=看護覚え書 (現代書) 看護の基本となるもの (日本看護協会出版会)<br>看護職の倫理綱領 (照林社)  |        |   |